

## 令和2年度 第73回 卒業証書授与式 学校長式辞

3月に入り、春の空気が、優しく私たちを包み込んでくれているような気がします。桜のつぼみも、日に日に大きく膨らんできました。

本日、ここに、第73回岸和田市立春木中学校「卒業証書授与式」を挙げるにあたり、保護者の皆さまのご臨席を賜り、卒業生の皆さんを祝福できますことは、この上ない喜びであります。卒業生、教職員を代表いたしまして、心からお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、在校生、来賓が参列しない卒業式となってしまいました。しかし、精一杯の気持ちを込めて、よろこびに満ちた卒業式を、生徒の皆さん、保護者の皆様とともに、お祝いしたいと思っています。

さて、卒業証書を手にした128名の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。

思い起こせば、平成30年4月6日、やや大きめの制服に身をつつんだ皆さんを迎えて、この体育館で入学式を行いました。これから始まる中学校生活に、夢や期待を大きくふくらませていたことでしょう。

1年生、2年生のときは、どちらかという、叱られることが多い学年だったと思います。

気持ちを切り替えて、「3年生でがんばろう」と思っていた矢先、新型コロナウイルス感染症による、臨時休業。登校できない日が、約3か月間も続きました。ようやく、5月下旬に分散登校が始まりましたが、それまでの生活とは一変して、様々な制限の中での再開でした。

「最終学年として、授業はどうなるのだろう」「学校行事や部活動はどうなるのだろう」「受験はどうなるのだろう」と、不安な気持ちや焦り、悲しみが大きかったと思います。それでも皆さんは、現実を受け止めながら、できることを一つ一つ積み重ねてきました。

学年別の体育大会では、朝練に熱心に取り組み、本番ではどのクラスも高い団結力を見せてくれました。合唱コンクールでは、マウスシールドの着用など、声が十分に通らない状況にも関わらず、3年生らしい美しいハーモニーを聞かせてくれました。修学旅行は、バスで飛騨高山という強硬策でしたが、お互いに気づかい、助け合う場面を多く見ることができました。その他、授業などの様々な場面で、皆さんが成長していく姿を随所に見ることができました。

さて、もうじき4月です。新たな生活が始まります。

新聞を読むと、最近では、未来に関して、明るい展望が少ないです。例えば、人工知能の急激な進歩や、少子高齢化による労働人口の減少など、〇〇だから心配だ、と不安をおおるような記事をよく目にします。社会の変化が早すぎて、夢や希望を描きにくい、そんな世の中なのかもしれません。

しかし、どんなに社会が変化しても、変わらない大切なものが幾つもあります。そして、そのことに気づくことで、未来を明るく切り開くことができます。

その一つが、人と人との、「縁」です。

春木中学校には、君たちを含めて、21、439名の卒業生がいて、国内外で活躍しています。2万人をこえる同窓生のまわりには、さらに、縁が繋がっています。これは、君たちにとって大きな心の支えであり、これからの人生の財産になることでしょう。

人と人との縁を大切にするには、まずは、身近な人を大事にすることです。たとえば家族であったり、友達であったり、学校の先生であったり。何か難しいことをするのではなく、ただ、相手が笑顔になること、うれしい気持ちになることをするだけです。心がけ一つで、誰でもできます。その積み重ねが、人と人との縁を深めます。

二つ目は、前を向いて歩くこと、です。

一夜（ひとよ）の成功を、夢見てはいけません。何の準備や努力もしないで、ある日突然成功するなんてことはないのです。毎日の、ねばり強い努力や意識の高い生活が、チャンスを引き寄せます。どんなに時代がかわっても、「なにくそ」と、歯を食いしばって頑張ることが大事なのです。

また、夢を見ているだけで、ずっと立ち止まってはいけません。夢の方へと一歩、また一歩と歩きます。歩幅の大きさや一日に進む距離は、人によって違うでしょう。しかし、どんなに小さな一歩でも、前を向いて歩くことに価値があります。歩き続けるから、新しい出会いや気づきがあります。人はそうやって、少しずつ成長します。春木中学校の目標である、「よい社会人」とは、このような生き方をする大人なのではないでしょうか。毎日を誠実に生きる、そんな「よい社会人」へと成長してください。

最後になりましたが、保護者の皆さま、お子さまのご卒業、誠におめでとうございます。

この世に生を受け、泣いたり微笑んだりしていた赤ん坊の頃から、少しずつできることが増え、それと同時に、ケガや病気、成長など心配なことも増える、そんな毎日だったのではないのでしょうか。

小学校、中学校の、9年間の義務教育を終えて、お子さまは、心も、身体も、立派に成長なさいました。保護者の皆さまのお喜びは、いかばかりかと存じます。

また、これまで、本校にお寄せいただきました、格別のご理解と、ご協力に対しまして、教職員を代表して、お礼申し上げます。今後とも、春木中学校を、あたたかい眼差しで、見守ってください。

皆さまの人生に幸多からんことを、祈念して、式辞といたします。

令和3年3月12日 岸和田市立春木中学校長